

長期間使用したクローラクレーンのエンジン回り点検強化の推奨

平素は弊社の製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

お客様各位におかれましては、所有されている機械について日頃から点検整備に励んでいらっしゃるかと存じます。

しかしながら長期間使用した機械に関してホースや配管、配線類の経年劣化などについては、つい見逃しがちになってしまい、その結果思わぬ故障(油漏れ、燃料漏れ、排気漏れ、配線ショートなど)により、最悪の場合火災につながる危険性があります。

そこで7~8年以上経過した機械に関しては、末永くご愛用頂くためにもこれらの部品について重点的に点検を実施して頂き、少しでも劣化が見受けられた場合には予防処置として早めの交換を推奨いたします。*異常が認められなくても定期的に交換していただくことをお勧めします。

また吸音材(スポンジ)につきましても劣化と共に剥がれや欠落の可能性が高くなりますので、早めの交換をお勧めします。もし吸音材に欠損等が見受けられた場合には周辺の配管類に付着していないかも確認をしてください。*吸音材が配管等の高温部に付着していると火災に繋がる危険性があります。

点検に関して特にエンジン回りの部品につきましても火災へつながる危険性が高いためエンジンルーム周り及びマフラのカバー類を取り外し、普段目の届きにくい部位につきましても細部まで重点的に点検していただくことを推奨いたします。点検整備をする際は弊社指定サービス工場へお申し付け頂くこともお勧めします。

主な点検カ所

各部排気漏れ、燃料漏れ、オイル漏れ、油漏れの有無

排気系(マフラ、エキゾーストパイプ、エキゾーストマニホールド類)、油圧及び燃料の配管(ホースやパイプ類)、電装品(バッテリーなど)、ハーネス、タンク(作動油、燃料)、カバー(底板、天板含む)類、保護ゴム類の損傷、劣化、腐食、亀裂、漏れ、緩み、干渉、潰れ・挟まれなどの有無

吸音材の汚れ、損傷、劣化、剥がれ、油分の吸着などの有無

以上